

## コロンビア経済情勢（1月）

### 【ポイント】

- 2020年の経済成長率について、国家統計庁は-7%から-8.1%となるとの予測。世界銀行は、-7.5%へ下方修正した。
- コロンビアへの、対外直接投資は増加した。
- 政府の公的債務は歴史的水準となり、公的債務は550.8兆ペソ（約1,528億1,800万米ドル）に達し、GDPの48.6%となった。

### 【本文】

#### 1 主な出来事

##### <国内情勢>

(1) 政府は、1,493.9億ペソを地方道路整備に投資（「ラ・レプブリカ」紙、16日）

政府は、運輸当局を通じて、地方の道路の整備を行う旨発表した。これにより、1,493.9億ペソ（約4,217万米ドル）を投じ、198キロメートルの地方道路の整備を行う。また、国家道路庁（INVIAS）は、アンティオキア県・リサルルダ県間の道路を整備するために1.15兆ペソ（約3億米ドル）が投じられる。ドゥケ大統領は、チョコ県の発展に尽力するとともに、「政権終了前に、アンティオキア県及びリサルルダ県との接続、また、エル・バジェ（El Valle）及びバイア・サラノ（Bahia Salano）など太平洋沿岸へ接続する高速道路の建設という、近年でも最も重要な2本の道路を整備する予定であり、これにより競争力を高める」旨述べた。

(2) 2021年、5Gプロジェクトにかかるすべての入札を実施予定（「ラ・レプブリカ」紙、29日）

政府は、国の経済再活性化政策の軸の一つとして、インフラを据えていることを示し、これにより、生産的連鎖と雇用の創出を目指す。オロスコ運輸相は、三次道路への投資は、1.7兆ペソ（約5億米ドル）に達することとなり、また、5Gプロジェクトにかかるすべての入札を実施する予定である旨述べた。

(3) ボゴタメトロの試験運行は2027年に開始（「ラ・レプブリカ」紙、29日）

29日、新しくボゴタメトロ社のゼネラル・マネージャーに就任したレオニダス・ナルバエス（Leonidas Narvaez）氏は、新型コロナウイルス流行の危機により、ボゴタメトロの工事計画に4ヶ月以上の遅れが出ている旨述べた。遅延にもかかわらず、ナルバエス・マネージャーは、ボゴタメトロの試験運行を2027年に開始し、2028年に商業運行を開始するとの見解を示した。このスケジュールに向けて、遅延を回復しているとした。

(4) エコペトル社は、シェールオイル試掘にむけ炭化水素庁と契約（「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、3日）

エコペトル社及び炭化水素庁（ANH）は、比従来型貯留層に関する技術的及び運用上の研究を行うためのプロジェクトについての特別契約に署名を行った。同プロジェクトは、炭化水素を抽出するための多段階水圧破碎による水平掘削技術を開発するためのものとなる。この、サンタンデル県マグダレナメディオ谷地区プエルトウィルチェス（Puerto Wilches）におけるシェールオイル試掘プロジェクトは、コロンビアで初のプロジェクトとなる。探査には、4億7,670万米ドルの費用がかかると見込まれている。予備調査によると、水圧破碎により、20億から70億平方メートルの石油及び天然ガスが産出されると見られている。

(5) エコペトル社は、6基の太陽光発電プロジェクトを実施（「エル・ヌエボ・シグロ」、23日）

ドゥケ大統領は、メタ県カスティーリャ・ラ・ヌエバ（Castilla La Nueva）市に所在するサン・フェルナンド太陽光発電施設において発電送電施設であるカスティーリャ3の稼働を開始した旨を発表した。また、併せて、エコペトルグループにより、サン・フェルナンド及びカスティーリャの二つの太陽光発電施設が国のエネルギー政策の転換を促進する旨述べた。今回稼働する6基の発電施設において45メガワットを超える発電ができ、これにより4.9万人に電力を供給できる。

(6) コロナ禍においても、住宅は歴史的販売数を記録（「ラ・レプブリカ」紙、11日）

ガレリア・インモビリティリア社の発表によると、2020年の公共住宅及び非公共住宅の販売数は17万6,157軒となり、コロンビアでの史上最高の販売数となった。同社によれば、2020年12月の販売数は、12月の販売数としては公共住宅、非公共住宅の双方で史上最高となった。マラゴン住宅相は、12月の販売数は、公共住宅では前年同月比で14%増加して、1万3,686軒となり、非公共住宅では前年同月比で56%増加して、5,583軒となった旨述べた。また、年間累計では、公共住宅では、前年同期で11%増加し、12万5,000軒であり、非公共住宅では、前年同期で0.3%増加し、5万1,000軒となった旨併せて述べた。

(7) 年末にバランキージャでアマゾン保護のための会議を開催（「ラ・レプブリカ」紙、27日）

ダボスで行われた世界経済フォーラムで開催された「持続可能なバイオエコノミーに向けたアマゾンのための融資」会議において、クラブ＝カローネ米州開発銀行総裁は、年末に、アマゾンを保護するための会議がバランキージャで開催される旨を発表した。違法な鉱山開発や非合法作物の栽培の防止、民間セクターからの参入の増加、地域社会との合意、エコビジネスやエコ産業の促進などの課題も示された。

(8) 世銀は、コロンビアの経済成長率予測を発表（「ポルタフォリオ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、「エル・ティエンポ」紙、6日）

5日、世界銀行は、コロンビアの2020年の経済成長率については、前回の-7.2%から-7.5%へ下方修正した。また、2021年の経済成長率を4.9%に上方修正した。2020年10月に公開された前回の報告書では、4.5%と予測されていた。また、2022年については、前回の4.2%から4.3%に僅かに上方修正した。

これらの上方修正は、コロンビアだけに適用されたものではなく、ラテンアメリカの経済成長率予測が、前回の2.8%から3.7%に上方修正された。しかし、2020年の成長率は-6.9%となるものと見られるため、2021年に予想通りの経済成長が成し遂げられたとしても、新型コロナウイルス流行以前の経済水準に回復するには不十分なものとなる。

(9) 国家統計庁は、コロンビアの経済成長率を発表（「ラ・レプブリカ」紙、12日）

国家統計庁は、2020年の経済成長率が-7%から-8.1%の範囲に落ち着くとどの予測を示した。10月まででは、-8%となった。11月及び12月は好調に推移したものと見込まれるので、年間成長率は改善する可能性がある。

(10) ボゴタ市で、完全稼働している企業は7%（「ポルタフォリオ」紙、27日）

ボゴタ商工会議所は、2021年1月現在で、7%の企業が完全稼働している旨発表した。11月では、24%、12月では、12%となり、減少傾向になった。また、ボゴタ商工会議所に参加している企業のうち、12月は58%、1月は56%が制限付きで稼働しているとした。加えて、一時的に閉鎖している企業は、10月と11月で10%、12月で21%となり、1月には27%となった。一時閉鎖に踏み切った理由は、18%が売り上げの低下のためであり、また、他の18%が行政による制限のためであるとした。他方、2月はこの指標が増加すると見られており、一時閉鎖している企業のうち43%は、1ヶ月以内に操業再開すると見られる。

(11) 2021年の給与補助金の受給申請の受付を開始（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ティエンポ」紙、7日）

正規雇用支援プログラム（Paef）は、2021年1月7日から14日に、再度受給申請の受付を開始した。2021年1月からの受給額は、新たに設定された最低賃金908、526ペソ（約256米ドル）に合わせ変更される。同プログラムにより、女性雇用主及び、観光業、ホテル業、外食業、芸術産業、娯楽・レクリエーション分野に従事する労働者に対し、最低賃金の50%となる454、000ペソ（約128米ドル）が支給される。また、男性雇用主及び、その他の経済部門の労働者には、最低賃金の40%に相当する363、000ペソ（約102米ドル）が支給される。同プログラムでは、労働者に直接支払われるわけではなく、政府から各企業を通し、支払われることとなる。

(12) 国税・関税庁は、2020年の税収を発表（「ポルタフォリオ」紙、「ラ・レプブリカ」紙、「エル・ヌエボ・シグロ」紙、14日）

国税・関税庁は、2020年に146.18兆（約412億米ドル）を徴収した。2020年の当初の目標は、167.5兆ペソ（約472億米ドル）であったが、これから13.89%減少して、144.2兆ペソ（約406億米ドル）に下方修正されていた。税収額は、この下方修正された目標の101%となった。相続税あるいは、統一税は、2019年と比較して、3億2,590万ペソ（約9万米ドル）増加した。他方、付加価値税及び所得税は、8.23%減少し、9.8兆ペソ（約28億米ドル）となった。

(13) 政府の公的債務は歴史的水準（「エル・ヌエボ・シグロ」紙、25日）

財務・公債省によると、対内債務は389.8兆ペソ（約1,135億7,500万米ドル）となり、公的債務の62.92%に相当する。対外債務は、229.7兆ペソ（約669億3,300万米ドル）となり、公的債務の37.08%に相当する。2019年12月時点の公的債務は550.8兆ペソ（約1,528億1,800万米ドル）に達し、GDPの48.6%となった。このうち、対内債務は、約1,010億9,400万米ドルとなり、公的債務の66.15%、対外債務は、517億2,400万米ドルとなり、公的債務の33.85%となった。2020年には、歳出の増加と徴税の減少により、公的債務はGDP比で63%となると予測しており、これは、歴史的な高水準になる。

(14) 政府の財政赤字は2021年90兆に達するとの予測（「ポルタフォリオ」紙、28日）

新型コロナウイルスの流行による税収の減少及び支出の増加により、2021年の財政赤字は90兆ペソ（約257億米ドル）と予測されている。これは、GDPの8.3%に相当する。Corficolombianaの報告書によると、2021年の財政計画を踏まえ、税制改革を行い、税収や

他の収入を増やすことにより、財政赤字を解決する必要があるとしている。同社の分析によると、中期財政枠組み（MFMP）における予測値より32兆ペソ（約91億米ドル）増加している。また、同報告書は、税収は、2019年のGDP比14%から2020年の12.9%、2021年の13%へとほとんど増加しないと予測しており、特に2020年は、石油産業・非石油産業にかかわらず、企業からの所得税の税収の悪化を反映しているとしている。

（15）対外直接投資は増加（「ポルタフォリオ」紙、20日）

コロンビアは、ラテンアメリカにおいて、チリに次いで、新型コロナウイルス流行下での対外投資が堅調であった。また、ラテンアメリカは、アジアに次いで、2番目に投資が行われた地域となった。国際金融協会（IIF）の報告書によると、アジアの新興国には1,350億米ドル、ラテンアメリカの新興国には717億米ドルの投資が行われた。また、同報告書によると、コロンビアには4億8,600万米ドル、チリには75億1,200万米ドルの投資が行われた。

（16）ドゥケ大統領は、和平のための開発投資法案に署名（「ラ・レプブリカ」紙、3日）

アルチラ大統領府高等審議官は、ドゥケ大統領が、2.1兆ペソ（約6億米ドル）以上の和平に向けた開発投資を行うための法令第1782号に署名した旨発表した。同法令は、土地使用料の金額を規定し、集中開発地区計画（PDET）の承認を行なっている。これにより、国内で最も暴力の影響を受けている地域の開発を実行できることとなる。また、国、県、地方自治体、国際機関、民間セクターによって実行されるプロジェクトは16のPDET地域において既に決定されている。

主な経済指標

経済活動指標	2019/11	2020/09	2020/10	2020/11
国内総生産(四半期)(DANE):%	3.5	-8.5	-3.6	-3.6
経済活動指数(DANE):%	3.2	-6.2	-4.9	-3.8
経済活動指数第1次産業(DANE):%	2.8	-6.6	-8.3	-9.2
経済活動指数第2次産業(DANE):%	-0.7	-11.8	-9.7	-10.4
経済活動指数第3次産業(DANE):%	4.5	-4.5	-3.0	-1.2
エネルギー需要(XM):GWh	5,979	5,881	6,125	5,874
エネルギー需要-前年同月比(XM):%	2.9	-3.2	0.6	-1.5
<b>雇用</b>				
全国平均失業率(DANE):%	9.3	15.8	14.7	13.3
主要13都市失業率(DANE):%	10.4	18.3	16.8	15.4
<b>消費</b>				
消費者信頼感指数(FEDESARROLLO):%	-14.4	-21.6	-18.6	-13.6
実質小売売上高指数(DANE):%	4.4	-0.8	3.0	4.1
自動車販売台数(単月)(ANDEMOS):台	23,989	18,437	20,886	22,351
自動車販売台数(年内累計)(ANDEMOS):台	232,971	118,539	139,425	161,776
<b>物価</b>				
消費者物価上昇率-前年同月比(DANE):%	0.10	0.32	-0.06	-0.15
消費者物価上昇率-前年比(DANE):%	3.84	1.97	1.75	1.49
生産者物価上昇率-前月比(DANE):%	-0.02	-0.44	0.62	0.02
ガソリン価格(ボゴタ)(鉱山省):ペソ/ガロン	9,705	8,286	8,250	8,250
<b>生産</b>				
実質工業生産指数(DANE):%	-1.5	-3.0	-2.7	-0.2
実質工業売上高指数(DANE):%	-1.1	-1.6	-2.3	-1.4
新規建設着工承認面積(DANE):㎡	1,907,434	1,858,656	1,351,676	1,445,725
コーヒー生産量(FNC):千袋(60Kg)	1,506	995	1,159	1,443
コーヒー生産量-前年同月比:%	16	-9	-15	-4
コーヒー価格(IOC)/11月から"SUAVE":USD	143.52	169.84	157.41	161.60
石油生産量(日量)(鉱山省):バレル	880,271	749,255	751,375	760,941.00
石油生産量-前年同月比(鉱山省):%	-0.3	-14.8	-14.9	-13.56
石油生産量(日量・年内平均)(鉱山省):バレル	886,217	789,339	785,543	783,306.18
石油価格WTI:USD/バレル	57.03	39.63	39.40	40.94
<b>金融</b>				
政策金利(中央銀行):%	4.25	2.00	1.75	1.75
為替 月初(中央銀行):COP	3,383.29	3,745.41	3,865.47	3,858.56
為替 月末(中央銀行):COP	3,522.48	3,878.94	3,858.56	3,611.44
為替 最高値(中央銀行):COP	3,522.48	3,878.94	3,881.80	3,858.56
為替 最安値(中央銀行):COP	3,318.47	3,653.23	3,776.73	3,611.44
株式指数 月初(中央銀行):COP	1,645.88	1,255.76	1,162.36	1,151.37
株式指数 月末(中央銀行):COP	1,611.92	1,171.92	1,136.75	1,258.00
株式指数 最高値(中央銀行):COP	1,665.69	1,258.16	1,190.01	1,270.61
株式指数 最安値(中央銀行):COP	1,587.33	1,165.75	1,120.37	1,151.37
<b>貿易</b>				
貿易収支(FOB)(DANE):百万米ドル	-1,603	-758	-867	-1,447
輸出額(FOB)(DANE):百万米ドル	2,944	2,545	2,645	2,523
輸出額(FOB)-前年同月比(DANE):%	-12.0	-17.0	-20.5	-14
輸出額(FOB)年内累計(DANE):百万米ドル	36,159	22,859	25,504	28,028
輸入額(CIF)(DANE):百万米ドル	4,757	3,476	3,706	4,188
輸入額(CIF)-前年同月比(DANE):%	6.3	-17.2	-14.5	-12
輸入額(CIF)年内累計(DANE):百万米ドル	48,624	31,452	35,158	39,346
労働者送金(中央銀行):百万米ドル	524	652	643	597